

第11回 能美市タウンミーティング

平成29年8月23日（水）13:30～15:30

根上学習センター

【司会】

ただいまから文化のまちづくりミーティングを始めさせていただきます。

まず初めに、ご参加の皆様を代表しまして、文化協会会長様にご挨拶をいただきたいと思っております。

【文化協会長】

きょうは文化のまちづくりミーティングということでご案内させていただきましたところ、大変な時間帯、出にくい時間帯にかかわらずたくさんの方にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。ご苦労さまでございます。

それから、市長、教育長、大変ご苦労さまです。それから市の皆さん、大変ご苦労さまです。

ちょっと一言だけ。実は皆様もご承知のとおり、能美市が誕生して12年です。新しく井出市長が誕生しました。井出市長の公約の一つのタウンミーティングで10年後の能美市をどう考えるか、一般の市民の皆さんとお話ししようということで順番にしてもう今は11回目です。そこで、文化協会として皆さんの意見をたくさん私も聞いていますので、ぜひ市長と少しお話しして文化協会の協力をもらおうということで、4月の総会のときにそういう案を出しました。38団体の皆さんに全部出席していただきまして、文化のまちタウンミーティングを開くということで皆さんに了解を得ました。それぞれの要望を協会単位で書いてほしいということで、役員会で検討し、きょうのこういう結果になっています。私、文化協会の会長としてこんなうれしいことはありません。皆さんの意見を全員が市長に言っていて、その生の声を、市長、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

わずかな時間、1時間半ですけど、実りのあるすばらしいミーティングになりますことを心から願って、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。ありがとうございます。

【司会】

次に、井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

日中の何かとご多用の中、文化のまちづくりミーティングにご参加いただきましてありがとうございます。

タウンミーティングの回数からいけば第11回目となりまして、大体夜に開催をしていたのですが、初めて日中に開催します。お世話をいただきました文化協会会長さん初め役員の皆様に御礼を申し上げます。

それではまず、私のほうからタウンミーティングを始めるのに際しまして、10年後の能美市ということで少しだけお話をさせていただければなと思います。

先ほど会長からもお話があったように、タウンミーティングをやりますということを選挙期間中に皆様にお約束させていただきました。これは私の政治信条である「現地現場主義」「市民ファースト」を進めていくのに当たって、市民の皆様方との意見交換をしっかりと、それを市政に反映していくという、そんな位置づけです。

能美市の最大の課題は人口減少問題です。実は昨年10月に人口5万人を超えたのですが、その後、4万9,900人台と低迷していました。7月の中旬ごろから5万人を超えまして、今それを維持しているところです。

ただ、少子化、いわゆる合計特殊出生率といいまして女性が1人当たり何人のお子さんを産むかという数について、男性と女性が結婚してお2人生まれれば人口は減らないのですが、現在、能美市は合計特殊出生率の数値が1.7台ということです。2040年には4万7,000人台になってしまう。それを何とかして4万8,800人台で推移できないかということで、いろんな取り組みをしているところです。

その人口減少問題に対して、能美市の魅力を発信、発掘させていくことで能美市を発展させていきたいということです。能美市の魅力を発信、発掘することでどういう効果を期待しているかといいますと、まずは移住・定住の促進です。生まれてくるお子さんの数が少ないということになると、能美市の人口をさらに伸ばすためには能美市にずっと住んでもらいたい、そして能美市に移り住んでもらいたいということになります。

それから、住みよいだけでは能美市に移住していただけない、雇用の場の確保も必要ということで企業誘致や地場産業の振興にも取り組んでいきます。それから、産業が盛んになると財源の確保にもつながります。能美市政を運営していく、皆様に住みよいと感じてもらうためには財源が必要です。そのためにも企業誘致、それから地場産業の振興に取り組んでいくということです。

それから、市の魅力を発信、発掘をさせていくということで、ふるさと愛の醸成につなげていきたいと思います。例えば今の小中学生に、能美市というのは自然景観が豊かである、笑顔がすてきな人がいっぱいいるよということだけではなくて、全国一電気料が安い、高校生まで医療費が無料、生活をする上で都会ほどお金がかからないということを小中学生のうちから、早くから子供たちに伝えていきたいと思います。例えば能美市内の中学校を卒業して、高校を卒業して、首都圏の大学に行って、首都圏の企業に就職をしようかなと迷っている能美の子供たちに、戻ってきたほうがいいよと、戻ってくるとこんないいことがいっぱいあるよ、住みやすいよということをお小中学生のうちから、早くから教育して魅力を発信、発掘していきたいと思っています。

能美市の魅力を発信、発掘していくために、能美市というものをもっとPRをしていきたいという思いがあります。具体的に言いますと、我々は「能美市」というのを漢字で見ると当然のように「のみし」と読めますけれども、首都圏に行くと「のうみし」と読まれてしまいます。私も企業誘致等でいろんなところにお邪魔すると「のうみしさんは」とよく言われます。実は能美市というのは住みよさランキングで4年連続全国上位なのですが、魅力度や認知度は400番台だったり600番台だったりと低迷しています。

それで、この能美市というのをもっと発信をしていきたいということで、ポスターをつくりました。これは市内のあちらこちらで張ってありますし、東京駅や京都駅、大阪駅にも張りましたし、それから高速道路のサービスエリアにも張りました。

このポスターというのは、藤田誠さんという能美市大成町出身のアートディレクターで、コマーシャルをつくっていらっしゃる有名な方がいらっしゃいまして、この方と、梅佳代さんという石川県能登町出身の写真家さんに能美市の魅力を発信するポスターをつくってほしいとお願いをしたところ、能美市というのは住みよい、それから子育て環境がすばらしいまちであり、それを象徴するのは子供たちの笑顔が一番ぴったりではないかということでした。そこで辰口中央小学校の子供たちを撮ってポスターにしました。

ビデオも7本つくりまして、今、ホームページでも公開していますし、それからn o m iチャンネルでも流してもらっていて、ぜひごらんいただきたいと思っています。

ポスターにはQRコードを表示してします、このポスターをごらんになった方がQRコードに携帯電話をかざすと能美市のホームページに飛んでいくようになっています。今、能美市のホームページにアクセスしていただいている回数がぐんと伸びており、そんな中で能美市というのを発信しているところです。

能美市の魅力といいますと、皆さんご自身もいろんな魅力をお感じになっていらっしゃると思います。ちょっと私が感じたものを申しあげると、例えば子育て環境がすばらしい。福祉や医療の制度が充実している。海も川も山もあり自然景観がすばらしい。それから、自然災害が少ない。台風が、この間もちょっとかすめましたけれども大きな被害はありませんし、震度4以上の地震というのは10年前の能登沖地震以来ありません。

コンパクトで町会・町内会の組織がしっかりしている。能美市というのは84平方キロメートルの中に74の町会・町内会があります。その町会・町内会には町会長さんがいらっしゃいまして、本当に市政との連携をしっかりしていただいている、いろんなお役目をしていただいている。町会・町内会というのは、この能美市を運営していくのに当たって大変大切な組織であります。

きょうお越しの文化、それから各種団体の活動が盛んです。やはりそういった活動が盛んだということは、それぞれの皆さんのコミュニケーションもとれるということでもありますし、いわゆる知識レベルといいたまうか文化レベルが非常に高いまちだということでもあります。日ごろ活動していただいている皆さんにこの場をかりまして御礼を申し上げたいと思います。

ものづくりのまちということで、一部上場会社の会社がたくさんあるということです。

交通アクセスが充実している。すぐそばに駅があります。能美根上駅に行けば25分で新幹線が通っているJR金沢駅に行ける。来年3月には吉原釜屋町に能美根上スマートインターチェンジができます。それから、すぐそこに通っている、タントの前を通っている道は、福島町のところで丁字路なっていますが、将来的には橋が1本できます。そうしますと、小松製作所の栗津工場から金沢港まで直通的の道が1本できます。それから、ここからですと15分で小松空港に行けます。小松空港に行けば、札幌、仙台、羽田、福岡、沖縄、それから上海、韓国等々にも行けるということでもあります。

特産品がある。丸いもやユズ、九谷焼、お米、いろんなものがあります。それから、観光資源、動物園、温泉等々があります。北陸先端大学院大学、寺井高校があります。

各種ランキングが上位だということで、私なりにこういう魅力を感じています。皆さんもそんな魅力を感じていらっしゃると思いますし、ぜひこの魅力を県内外に発信していただきたいとも思っています。

いいことばかりではないということで、実は財政状況もなかなか厳しい。どうしても福祉費の比率が高まってきています。

それから、アセットマネジメントと片仮名で書いてありますが、要は老朽化した公共施設や設備を改修していかななくてはならないということです。能美市内には約430キロメートルの上水道管が張りめぐらされていて、それを新しいものにしていかなくてはなりません。工事の期間とお金の勘定をすると全部改修するのに約100年かかると言われていました、100年かかるということは100年後にもう一回、100年前に直したものを直さなくてはならないという状況であります。

それから、このタウンミーティングをずっとやらせていただいておりますが、一番皆さんから多く言われるのは、のみバスです。本数が少ない、行くまでに時間がかかる、なかなか来ない、ルートが悪いなど本当にたくさんのご意見、ご要望をいただいております、公共交通機関を何とかしないといけないなと思っています。

それから、広域連携の強化ということで、能美市の人口が減ってきますと、やはり能美市単独で行政サービスを維持できなくなります。そうしますと、能美市に隣接している小松市や川北町、白山市さんと広域連携の強化をしていかなければならないと思っています。

能美市の魅力を発信しているということを相対的にシティプロモーションという言葉で称してしまっていて、いろんなことをやっています。後から触れますけれども、市役所の1階のホールを市民ギャラリーとして開放していきたいという思いもありますし、あと「広報能美」も新しくさせていただきました。特に町会・町内会長さんに月に3つの町ずつ出てもらうようにしています。自分の町の自慢話などを紹介しています。ぜひきょうお越しの各種団体の皆さんにも広報能美に投稿、出演していただいて、皆さんの団体がどんなことをしていच्छやるのかということもPRもしていただければなと思っています。

それでは、文化のまちづくりのミーティングを始めさせていただきます。

【司会】

それでは、皆様からご提案、ご意見を頂戴してまいりたいと思います。

進め方としましては、私からテーマを申し上げますので、それについて皆様からご発言をいただきたいと思います。

① 市立博物館の閉館と新博物館の建設について

【司会】

最初のテーマは、市立博物館の閉館と新博物館の建設についてです。郷土史の会の代表

の方、ご意見をよろしく願ひいたします。

【郷土史の会】

先般から、絵馬のことで皆さんにも随分ご迷惑かけています。おかげさまで絵馬の展覧会をやっていますし、それから絵馬の収録、図録も完成しました。また、皆さんぜひごらんください。よろしく願ひいたします。

私がなぜこのテーマを選んだかと申しますと、本当に現在の博物館と郷土史の会は一体となっていることをやってきたという、そういう思いがあります。昔からつないできた古いもの、それからまた新しい事柄を全て郷土史の会の活動と博物館の企画とタイアップしながら、例えばふるさと講座をやってみたり、それから動物、植物の調査などをそれぞれ本にしたり、いろんな展示をしたりと本当に会員の方の協力を得てやっています。市立博物館がもう閉館になることをお聞きしまして、新しい博物館をどのようにしたらいいかという私たちの願ひがあるわけです。今までどおりに私たちが気軽に博物館とタイアップしながらいろんなことができるようにしていきたい。また、そのように願ひしたいと思ひます。

それで、今までつないできたそれぞれの方々のご意見やご希望、思いなどをつないでいく形で新しい博物館ができればいいなと思ひています。また、そのための委員会や協議会といったスタイルのものをぜひ構成して進めてほしいと思ひています。

【司会】

次に、押し花協会の代表の方、よろしく願ひいたします。

【押し花協会】

先ほどから市立博物館の閉館ということで、私たちは博物館の展示場で、毎年、作品展をさせていただいていました。

押し花協会というのは辰口の会員が大体半分以上います。文化祭は文化会館でいつもされるので、根上まで出てこなければなりません。足のない方だったら、期間も3日ほどしかないのです、なかなか自分の作品を出してもわざわざ見に来られないし、お友達もなかなか見に来てもらえないということで、いつも博物館での展示会を皆さん楽しみにしていました。（作品展は）自分の1年間の集大成で、自分たち協会ですれば何点かは出品できます。文化祭でしたら各1点しか出せないのです、やっぱりもったいないなと思ひます。自分たちはこんなふうにして生涯学習というか自分の生きがいとしてやっていますよということをはかの方にも見ていただきたいので、展示場がどうなるのかということ、そして辰口

にもコミュニティセンターがあります。そのコミュニティセンターで教室がたくさんあります。その中でも私たち押し花協会も3つほどクラブをやっています。ぜひもっと充実した教室づくりにもぜひ市長さん、お力をおかりしたいなと思っていますので、よろしくお願ひします。

【司会】

では次に、絵画協会の方、よろしくお願ひいたします。

【絵画協会】

私から、最初、市長に一言ちょっとお礼を申し上げたいと思います。この学習センターでフックとワイヤーで展示するとき、後始末が大変でしたが、改善いただきましてまことにありがとうございました。大分前から私たちが望んでいた内容だったので、時間が大分短縮されて喜んでます。

市立博物館の閉館と新博物館の建設について、私たちの絵画協会は辰口、根上、寺井と3つの絵画クラブがありまして、会員数は45名ですけれども、その中に作家協会の会員の方も17名います。一番、市立博物館を使用していたのは辰口の絵画クラブで、毎年、辰口の風ということで展示しています。作家協会も毎年、N展を博物館で展示しています。ほかには個展を博物館でやっています。図書館の前で人もたくさん集まりますし、駐車場もあり、展示用のスペースも設備もよくて、照明もよくて、ちょうど私たちの簡単な展示会をするのには本当によい場所だったものですから、なくなるということは非常に残念なので、ちょっと一言言いたいと思っています。

それと今後、市立博物館、閉館になった後、新博物館の建設について、私たちも中身は見えないし、今後、絵画のほうでもどこを使うか、来年のこともまだ決めてないのですが、そういうことで今後の展示場の関係についてお考えをお願いしたいと思います。その辺よろしくお願ひいたします。どうも失礼しました。

【司会】

では次に、叢生会の方、よろしくお願ひいたします。

【叢生会】

2点ほどお願ひしたいと思います。

私たち叢生会は、年間4回展覧会を開催しています。絵画、陶芸中心で、寺井地区公民館で3回、図書館で1回やっています。

現実こうやって見てみると、すごく展示場が手狭というところがあって、やはり新博物館ができれば、もう少し何か大きな展示スペースといったものが欲しいなと思います。今でも現実、本当に展示が手狭で、全然新しいものが入っていないという状況で大変困っています。そこをお願いしたいなと思います。

あと、今後やっぱりいろんなお金がかかったりするということがあるのではないかと予想されていますが、やはり何かお金がかかるとかではなく、使いやすい場所をこうやって提供していただければ本当に喜んでいろんな作品づくりに精進できるのではないかと思います。

2点目ですけれども、広く文化活動の振興のためには、活動している人の作品のメモリアルといったことが役立つと思います。その時代時代にいろんなたくさんの方が作品づくりをしていて、叢生会にはこんな人がいたな、美術作家協会にこんな人が活動しているなといったメモリアルみたいなものがきちんと整理されていると、今後の能美市の文化活動の発展にいろいろ参考になり、また振興のために役に立つのではないかと思います。

それと、先ほど絵画協会から話がありましたが、辰口地区の市立博物館が閉鎖されたということで、発表の場がなくなるということがあります。新しい博物館ができるということもありますが、辰口の地元で発表したいという場合、そういう方もやっぱり大切なのではないかと思います。

先ほどのいろんな方の話を聞きますと、やっぱり遠いところから作品を運ぶより、自分たちの住んでいる近くに施設があって、そこへ運べるような、そのような発表の場があってほしいなと思っています。

【井出市長】

たくさんのご質問をいただきました。博物館について1点目、それから展示場などの発表の場を確保してほしいというのが2点目、それからメモリアルというお言葉を使われましたけれども、保管や保存するといった意味のことだと思われま

【叢生会】

作家の作品1点ぐらいは収蔵する、または写真、デジタルのものであってもいいと思います。そういったものがあればいいのではないかと思います。

【井出市長】

それが3点目ですね。

まず、新博物館のことについて少し御説明をさせていただきたいと思います。現在の辰

口博物館というのは、耐震化もされていません。それから収蔵品を保管し展示するためには湿度や温度をしっかりと管理しなくてはならないのですが、そんな設備も老朽化しているということもあって、取り壊して新しい施設をつくろうということで今動いています。

新博物館は、和田山周辺、今のすば一く寺井の隣あたりに建設したいと思っています。どうしてそこを選んだかといいますと、博物館で古墳を広く紹介をしていきたいという思いの中で、古墳の現物をごらんになり、博物館でそれを学習していただくといった趣旨があり、やはり文化的な薫りがする場所がいいだろうということであの場所を選びました。

加えて、そばには和田山史跡公園、防災センターもあります。それから今度、警察署もできるということで、あのあたり一帯に多くの市民が集える場所があります。博物館に来ていただいて、防災センターへ寄って、あの辺でお弁当を食べてもらうといったことも狙ってあの場所を選びました。特に子供たちにもたくさん来てほしいと思っていまして、博物館は固定した常設展のみならず企画展を多くやって、何回でも行きたくなるような仕掛けをしたいなと今考えています。

まだ設計段階ではありますので、先ほどお話しいただいた市民の意見をそこにどうやって取り入れていくかということですが、新博物館建設準備委員会というのを立ち上げて、そこで多くの皆さんからご意見を頂戴して進めていこうという思いもあります。それから旧博物館には今まで郷土史の会や博物館友の会の皆さんがそこにお越しになっていただきました。新博物館でも皆さんがお越しいただいて、何かお話をしていただけるようなフリースペースをつくって、今まで同様親しんでいただければなと思っています。

それから、展示場の確保、発表の場のことです。辰口にある博物館をなくすことで辰口地区の展示する場所が一つなくなるということですが、実は辰口地区には辰口福祉会館、それから図書館の2階にも展示するスペースがあります。ぜひそこを活用していただきたいなと思います。

この能美市内に展示場がどれだけあるかといいますと、先ほどありました学習センターも一つであります。タントにもあります。寺井地区に行けば寺井地区公民館や図書館もございます。稼働率を調べましたら、大体50%前後ぐらいですので、まだ若干余裕があります。特に辰口福祉会館は、ことしのゴールデンウィーク、生け花展をやっていたいただきましたけれども、そんなに余りお使いいただけないようです。ですからぜひ、特に辰口地区の方は辰口福祉会館をご利用いただければなと思います。

【協会員】

だめです。あそこ照明がありません。通路は暗くて見えません。

【井出市長】

通路ではそうですけれども、3階にもそういうスペースがあります。またご案内しますので、見ていただければと思います。

それから今後、能美市役所の本庁舎の1階のギャラリー部分、あそこを展示スペースにする予定です。市役所はたくさんの方がおいでになります。本当にたくさんの方に市役所に来ていただいて、いろんなことに親しんでいただこうと思っていまして、今、そんなことを検討中です。

ただ、土日、祝日はやっていないので平日限定にはなりますけれども、その反面、多くの皆さんがいらっしゃいます。それから市民だけではなくて市外の方も多く市役所に訪れますので、皆さんがやっていらっしゃる活動を本当に広く、紹介していただける場所になると期待しています。ぜひご活用いただければと思います。

それから、保管、収蔵というお話がございました。私もこの間、絵馬と冊子を見させていただきました。まさに大切なものをどうするかというお話だと思います。能美市で全部保管するというのをここで明言できればいいのですが、正直申し上げてそんなスペースというのはなかなかありません。やはり大切なものですから、普通の倉庫みたいなところで保管するというわけにはいきません。湿度や温度を管理できるような場所じゃないと、大切なものを長く保存できないということです。そうしますと、ある程度限定されます。能美市の文化財保護審議会で諮りまして、これは将来残しておかなくてはならない、そうやって指定を受けたものから順次、きちんと保管、保存していきたいと思います。

② 文化教育の導入について

【司会】

次は、文化教育の導入についてです。民謡協会さん、まずお願いいたします。

【民謡協会】

日ごろは、当協会に対して非常にご支援、ご協力ありがとうございます。

学校への文化教育の導入ということで、最近の少子・高齢化の中、民謡協会では若い方の入会者がほとんどなく、また指導者及び会員の高齢化により、伝統芸能の継承が難しくなっているのが現状です。この状況が続けば、あと10年ぐらいたれば能美市の協会は

消滅の一途をたどるのではないかなと危惧しています。

35年ほど前まではテレビ等での放送もたくさんあり、そのときに多くの愛好家が生まれました。しかし、ここ最近では放送も激減し、興味を抱く方も少なくなり、入会者がほとんどいないのが現状です。今現在残っている会員もそのころに入会された方がほとんどで、65歳から85歳の方々ばかりで非常に高齢化が進んでいます。

そういった中、若いときからいろいろなことに興味を持ってもらい、趣味の一つとして参加していただき、この文化を後世に残していくためにも、学校教育の一環として、洋楽ではなしに和楽においても学校での課外活動の中の一つに取り込むことができないか検討をお願いしたいなと思っています。

【司会】

では次に、事務局の方、よろしくお願いいたします。

【事務局】

本日は市長さん、この会を持っていただきまして本当にありがとうございます。

今、お話あったように、また、先ほど市長さんからの説明にもあったように、少子化になっていきますのでこれからの子供たちに対してますます文化面の教育、伝えていくことが大事になってくると思います。

そういうことでちょっと提案するのは、今、寺井中学校では先日終わりましたが、課外活動で全生徒さんが何かの形でテーマや教室に参加して勉強しました。その中において、ある教室については文化協会絡みの人が講師になって教えているということもあります。私たちが37団体ありますが、いろいろな団体があり、お手伝いできればまた協力したいと思います。それから学校内での教育も大事ですが、学校を出て町家や市の施設なども利用して、学校以外でもそういう場所があるということも利用して、教育にプラスしていけないでしょうか。根上中学と辰口中学にも広げていったらどうでしょうか。

【司会】

吟詠会の方、よろしくお願ひします。

【吟詠会】

吟詠会は40年前にできました。今、10年前に能美市になってから、協会ができたときは7教室が協会に入っていましたが、今、4つしか残っていません。10年の間で寂れていくというか、寂しい思いをしています。

かつては30代がたくさんいましたが、そのまま60、70代になりました。最初、男性は40

代、50代になると忙しくておやめになり、女性の方は50代、60代になると孫のお守りで忙しくなりやめていかれます。さあ始めようと思ったら70代になっているということです。先ほど話がありました体験学習等々を通じて子供のときから吟詠というものを体験していただきたいと思います。実は私、初めて吟詠というものを知ったのは大学入ってからです。漢詩も勉強できるので、もっと子供のときから吟詠を知っていただきたいと思います。

そういうことで、ほとんど皆さんと考え方は一緒で、だんだん寂れていくので、子供のときから学校でやっていきたいということです。

【司会】

では次、日本舞踊協会の方、よろしくお願いします。

【日本舞踊協会】

伝統芸能というのは、皆さんもそうですが、これは能美市だけの問題ではなく、後継者の育成というのは日本全国共通の大きな課題だと思っています。伝統芸能、文化というのは、やはり長い時間をかけてつくり上げていくものであり、また終着点がないということで、今の時代では若い人や子供にはその魅力、精神というのは伝わりにくい分野だと思っています。

今ほどお話しされた方や私も含めて文化協会の会員は、小さいときには割とどこでもいろんな、太鼓を聞いたり、日本舞踊を見たり、三味線を見たりという時代を生きてきたと思います。現代は皆さんもご存じのようにそういう環境ではなくなっています。

伝統芸能というのは、ただ単に歌う、踊ることだけではなく、これは稽古の過程で、歴史やしきたり、そして努力の大切さ、また達成感、人との交わり方というものを学んでいくものだと思っています。

日本舞踊協会として提案したいのは、これもいろんな各市町も同じ危機感を持ってそれぞれ動き出しているものですが、伝統芸能教室ということで、のみっ子伝統芸能教室を開講していただきたいと思います。小学校から中学校、9年間、能美市におりますので、この9年間の間に系統的に、例えば日本舞踊で申しますと小学生のときには小学生の低学年にできることを教えて、それから中学年、高学年、そして中学校、また能美市を出ていくまでに日本舞踊について、踊れなくてもいいですが、例えば一人で着物が着られるようになる、長唄や、吟詠、民謡といったそういう邦楽がわかる、それから、約束事とか四季折々のことがわかるという文化意識の高いのみっ子を育てていけるのではないかと思います。その子供たちが世界に羽ばたいたときに、日本人であること、石川県民であること、それ

から能美市出身であるということに誇りを持って、堂々と生きていけるのではないかと思います。その子たちがいずれは次の時代に文化を伝えていってくれるのではないかなと思っています。

具体的に芸能教室は、学校のほうはいろんな授業もありますし、なかなか私たちが踏み込めない分野なので、ぜひとも市長さんが中に入ってくださいまして、学校の授業に組み込めないならば、例えば先ほども課外授業とかありましたが、そういった学校現場の中に入って、何とかつないでいただきたいなと思っています。

【司会】

それでは、市長から返答させていただきます。

【井出市長】

本当にごもっともなご指摘だと思います。私が小学校のころの夏休みといいますと、6時に起きて近所の神社に行ってビー玉で遊んで、6時半からラジオ体操して、野球をやって、またビー玉やって、夕方、家へ帰ってご飯食べて、まだ遊んでいた。まだそんな時代でした。私の長男は26、次男は24、三男は20ですが、子供のときを見ている、少年野球やサッカーなど本当にいろんな行事があるので、そういう文化に触れ合う機会というのが少なくなったなと思っていました。友達と一緒に遊ぶということよりも、何かサークルみたいなものに参加することに、時間が多くとられているなと思っていました。ここにいらっしゃる皆さんも同じ思いでそんな提案をしていただいているのだと思います。

学校の教育の中に皆さんがおっしゃったようなものを入れられるかということ、これは学習指導要領というのがあり、その中で何をどれだけ教えるということがきちんと決まっています。そこに新たに何かを入れていくというのは大変これは難しいという現状です。

とはいえ、学校のほうではできるだけそういったことに携わってほしいなということで、学校ごとに例えば歌舞伎や民謡、和楽器などを取り入れているところも実態としてはあるようです。ただ、そこに新たに加えていくとなると、なかなか難しいということで、具体的にどうするのかという話です。能美市では「能美市生涯学習情報のご案内」という冊子を出しています。そこに「ジュニアサークルのごあんない」というのがありまして、ぜひこのジュニアサークルを皆さんでお立ち上げいただけないかなというお願いと提案であります。

今、どういったものがサークルの中にあるかといいますと、陶芸や茶道、書道、クッキング等々の29年度であれば全部で8つのサークルが立ち上がっています。ぜひここに今皆

さんおっしゃったようなサークルをつくっていただいて、それで多くの子供たちに参加していただければと思います。

それから、やはり伝統芸能に触れ合う時間ももっとふやしたいと思っています。

そこで、ことしの11月に、1カ月を通していろんな音楽や芸能に触れ合う機会をつくりたいと思っています。「能美市アットホームタウンフェスティバル2017」と銘打ちまして、毎週いろんなイベントを開催していきたいと思っています。それから、立志式などいろんな子供たちが集う場面で、皆さんがやっていたら紹介や披露していただく機会をもっとふやし、子供たちに興味を持ってもらって、そして皆さんがこういったサークルをやっていたらいいのであれば、そこに参加してみたいと思ってもらえるようにつなげていきたいと思っています。

きょう、ここに教育長もおられます。教育長も皆さんのお声をしっかりと把握されています。例えば学校で、寺井中学校はやっているけれども辰口中と根上中はやっていないといったお話もありました。実は辰口中も根上中もほかのことをやっています。では、こんなことをしたらどうだという個別のご相談はまたぜひ教育委員会にお問い合わせいただければと思います。皆さんと一緒に伝統芸能、伝統文化というものをしっかりとこの能美市に根差していきたいと思っています。

③観光・市のブランド化について

【司会】

次のテーマは、観光・市のブランド化についてです。事務局の方、よろしく願いいたします。

【事務局】

文化協会としていろんなことをやっています。今話が出ましたように、いろんな協会がいろいろとやっていますけれども、例えば「文芸能美」を近辺の文化協会に発送したり、国会図書館まで「文芸能美」を2、3冊送ったりと文化協会としても一応能美市の文化についてPRしています。私自身はよそから転居してきました。能美市がすばらしい文化、芸能、芸術のまち、市だなということは実感していますが、そういう中において、文化協会としてさらに能美市の文化を充実させるためにどうあるべきか、どうしたらいいかというのを課題にしています。

行政として何かいいご指示、提案がありましたら教えていただきたいなと思います。

【井出市長】

総括的なお話だったと思います。冒頭から申し上げているように、やはり文化活動というのは大変大切なことだと思います。それは趣味の世界ということだけではなくて、やはり郷土愛を感じてもらい、それから人と人との親睦を深める、それから健康という面でも文化に携わるというのは大変重要なことだと思います。

そういった意味では、文化協会さんという団体があって、そして我々行政があって、やはりこういった機会を通して皆さんと意見交換をしながら、皆さんのご要望やご期待にできるだけ沿えるように我々も考えていきたいということです。我々も文化協会さんの活動に対して少額ですが、支援もさせていただいています。

それから、石川県のほうでもそのようなプログラムがあります。そんなこともご紹介をしながら、足らざるところは市、そして県も協力して、皆さんの活動をご支援しながら、さらに活動を進めていっていただければなと思っています。

④ 文化事業の活性化について

【司会】

次のテーマは、文化事業の活性化についてです。まず、剣詩舞道会の方よろしく願いいたします。

【剣詩舞道会】

4点お願いします。まず第1点、練習する会場の確保が難しくなっています。今現在、剣詩舞道会では、根上地区と寺井地区でいろんなサークル、教室をやっていますが、寺井のほうは大変広い寺井地区公民館の大ホールを使わせていただいているのですが、そこがだめな場合はまた次のお部屋ということであるのですが、ほかでは1カ月に4回使いたいところ1回しか使えないというところも往々にしてあるということを聞いています。

先ほど、市長さんのほうからジュニアサークル等で募集するというお話もありました。私も3月で仕事をやめまして、4月から教室を持とうかなと思って子供のサークルも始めましたが、なかなか会場の確保が難しく、例えば現在でしたら、牛島の公民館でやっています。各町の公民館もそうだと思うのですが、地元の町内の方が使えば無料、だけど町外の子が1人でも入ってくると有料となるので、厳しいかなと思っています。

第2点、茶碗まつりのアトラクションが2、3年前になくなりました。わたしたちはここでの発表会を小さな発表会と思い、一生懸命出て、それを市民の方も楽しみにして見に

来られていました。（会場が）泉台に移ってから全くそういうアトラクションがなくなって残念だなと思っており、今後、復活はあるのかなと思っています。

それから第3点、これは自分たちも悪いのだと思うのですが、タントで文化祭の発表会をいつもしています。時間帯のせいなのかもしれませんが、ほとんどお客さんがいません。本当に自分たちでアピールしていかなければならないかなと思っています。私たちは3時半か4時ぐらいからいつも発表させていただいていますが、お客さんはほとんど、いろいろなお琴の会とか民謡の会とかありますが、ほとんどそれに関係して参加している方の家族で、見てそのまま帰っていくという形です。何かもうちょっとアピールできないかなという思いがあります。チラシはいつも広報に入っていますが、ちょっと寂しいなという思いがあります。

最後は、会場使用料免除の制度がありまして、これはずっと継続してほしいなと思います。毎月、うちらは特に、民謡さんもそうでしょうけど、音が出るものは本当に会場確保が難しいので、借りたときにはそういう免除があるのはすごく助かっていますし、今後継続してほしいなと思いました。

【歌謡協会】

私たちは、いろいろな施設を年間二十二、三回、慰問しています。その中で気づいたことですが、今度行く施設は小松にあります。その施設は全部設備が整っています。能美市の施設は一切設備が整っていません。だから、重い機械を運んで会場まで持っていくという難儀な点がございまして。そういう点を能美市としてもいろいろな施設を抱えており、これから少子・高齢化、年寄りばかりが多くなる時代ですので、カラオケの設備を導入してもらえたらすごくいいのではないかと思います。

そしてもう一つは、寺井地区公民館の件です。地区公民館の後ろのほうのライトが壊れています。早急に直していただきたいです。

【司会】

川柳の会の方、ご意見よろしいでしょうか。

【能美川柳会】

実は川柳会では平成4年からNHK学園の生涯学習、能美川柳大会というのを23回続けてやってまいりました。これはNHK学園が主催するもので、全国規模の大会であり、旧根上町のときに始まった大会でした。こういう大会を続けることによって、NHKのほうも根上町を随分宣伝してくれました。パンフレットにもいろんなところを載せてくれまし

て、大変いい雰囲気です。23回続けてきました。それが、平成27年だったと思いますが24回目のときに、能美市がNHKの大会はことしでやめろと言ったので、かわりに市民川柳大会というものをやりました。

それで、なぜNHK大会をやめるのか、予算的な面でやめるのか、どういうふうにやめるのか質問しましたが、はっきりした答えが全然返ってこなかったです。

それで、何で23回も続いた全国的な大会が急にやめになったか全然わかりません。それで、そのときに市民川柳大会は能美市主催でやるのかと聞いたら、するという話でした。能美市主催でやるのであれば能美市のほうでいろいろな計画を立てて、我々も話をいただければできるだけ協力しますと話をしましたが、全然ナシのつぶてで、それで川柳大会は平成27年でなくなりました。

もともとは根上町が主催していましたが。こういう全国的な大きな大会を簡単にやめるということは本当に残念です。すごく宣伝になっていました。やっぱりNHK学園というネームバリュー、そういうものも含めると本当にその大会をやめたのは残念で仕方がなく、いまだに何でやめたのかわかりません。

その当時の担当者に聞けばわかるかもしれませんが、我々にははっきりしたことは言ってくれませんでした。私としては、こういう大きな全国的な大会を何とかもう1度、能美市当局のご協力をいただいて復活させたいなと思っています。

【司会】

では、次に書道協会の方、ご意見をお願いします。

【書道協会】

今週日曜日、8月27日、根上総合文化会館の円形ホールにおいて第13回夏休み席書大会の開催が予定されています。この大会は、市の教育委員会と私ども書道協会の共同行事として、平成17年から毎年8月の最終日曜日に開催しています。

ちなみに、市の以前、根上町るとき、昭和61年に私は根上の書道協会の会長になりました。この席書大会はそのときからずっと続いていまして、市になったときに前任の方が引き継いでくれています、それが今回こうやって13回目ということで、三十何年続いています。そういう席書大会ですが、内容は市内の小中学生が対象で、児童生徒の書写力の向上と、それから豊かな情操が培われることを願い、それから先ほどから言っています伝統文化の継承、発展に寄与することを一つ目的にして現在やっています。このため大会の実施に当たっては、いつも書道協会はもちろんですが、市の教育委員会、それと市内の小中学校の

先生方に大変多くのご協力、ご支援をいただいています。この事業については、私たちは誇りと使命感を持っています。今後とも教育委員会様については、さらなるご協力、それからご支援を特にお願いしたいと思います。

参考ですが、もう一つ、書写教育というのは現在3年生からやっています。先ほど市長さんのお話の中にジュニア教室というのがありました。書道も昔からジュニア教室に参加しています。最近の傾向として、これまでは小学3年生から書写が学校教育で入っていますが、ジュニア教室で募集すると小学1年生からもう入ってきます。これは大変うれしいことで、いいことだと思っています。全国的に見ても愛知県の春日井市、ここではもうはっきりと市内の小学校で小学1年生から書写教育が始まっています。その教育長さんのお言葉の中には、書を通じて集中力、それと規律を養うことを狙いとして始めたということいろいろな新聞等の中でお話しされています。

これはちょっと追加になりましたが、そういうことも現状ありますので、特にその辺のところをまたあわせてご検討お願いしたいと思います。

【司会】

次に、事務局の方、よろしくお願いいたします。

【事務局】

今ほどいろいろご意見出ていますが、活性化ということで皆さんいろいろ悩みがあって、市長さんを前にしていろいろ訴えていると思います。いま一つ、私としては市民全体で文化ということ盛り上げていったらどうかということです。以前から文化協会と公民館さんが一緒になって文化講演会というのをずっと続けてきました。

余り名の売れてない人や聞いたことないような人に、せっかく来ていただいても会場へ足を運んでくれる方が少ないです。私たちもそういうことを考えて、文化協会としては少しですけどそういうことでお金をプールしています。

それから、それプラスアルファで市の公民館、それから市自身のご協力を得て、ある程度お名前のお出での方を能美市に来ていただいて講演したら、市民の皆さん方の文化の盛り上がりが出るのではないかと考えています。もしご協力できたらよろしくお願いいたします。

【司会】

では次に、洋舞協会の方、よろしくお願いいたします。

【洋舞協会】

私は、子供のころから11月3日になると文化の日に地元の文化祭で踊っていました。そのときから数えると文化祭とは切っても切れない関係になります。関係ないですが、誕生日は11月3日なので文化のために生まれてきたのかと思っています。

文化協会に入って、生徒を発表させるようになって42年目になります。地元で発表できる唯一の場が毎年11月の文化協会の合同公演です。合併したことで協会数、会員数がふえたせいでしょうか、与えられる時間が1年に1回、15分間だけです。今は2団体で15分間です。とても残念なことなのですが全員を舞台に上げることはできません。文化協会に入っている子供たちのメリットはほとんどありません。

高齢化する組織の中で、子供たちが頑張っている団体はほかにあるかと思います。底辺の拡大、魅力ある組織、入るとこんなメリットがあるというもっと夢のある組織をこれからの若者や子供につないでいきたいと思います。そこで、文化協会の子供のために発表できる場を開催してはどうでしょうかということです。

また、一つだけお願いがあります。タントの床の掃除を徹底してほしいと思います。

【司会】

では最後に、事務局の方、よろしくお願いします。

【事務局】

先ほど市長さんが最初にいろいろご説明をしていただいた中に、文化のことも載せていただきました。

そういうことで、私は寺井町の出身ですが、寺井町のときに「水と緑と文化の町」というキャッチフレーズで内外に対してPRしていたかと思います。今、私たちは先ほども言いましたけど37団体でメンバーが大体2,200人ぐらいいます。そういうこともありまして、市長にぜひ海外に能美市は文化のまちだというようなことで訴えていただいて、市民全体で「能美市 文化のまち」というようなキャッチフレーズで、いろいろと宣伝プラスアルファ活動を深めていくということで、お考えいただけないでしょうかということです。

【司会】

それでは、市長から返答させていただきます。

【井出市長】

まず、剣詩舞道会の方からのご質問です。練習場がなかなかないというお話でしたが、練習場というのはどういう条件がないと剣詩舞道会さんの場合は練習できないのでしょうか

か。

【剣詩舞道会】

まず剣詩舞道の場合は、ある程度の大きさ、また、畳の部屋とかは傷んだりします。小さいのはだめですし、例えば地区公民館でいうと大ホールを使わせていただいて、そうでなかったら中会議室くらいないとだめです。ただ、音が出るので両サイド会議室は使えないので、そんなふうに行くと部屋がどんどん（なくなります）。そうすると茶華道室、茶道室になります。

【井出市長】

わかりました。ちょっと一回、個別に見ます。条件を聞いて、どういったところが当てはまるのか、また担当のほうからご連絡します。

【剣詩舞道会】

寺井地区公民館の場合は物すごくいい対応をしてもらっていますが、タントはほとんど使えません。

【井出市長】

わかりました。それから、九谷茶碗まつりでの発表の場ということですが、これになりますと茶碗屋さんに聞かないと何とも言えないので、今お答えはしづらいということでご理解いただきたいと思います。

それから、剣詩舞道会の発表の順番になるとちょっと人が減っているのではないかとこのお話でした。これは毎年、発表する順番が決まっているのですか。一回その順番を見直すことで、その時間帯がいい時間になるように、そんなこともちょっと一回皆さんと相談しながら考えていきたいなと思います。

それから、会場使用料の免除のお話です。これも我々とする引き続き今までどおりというのがあるのですが、実際いろんなところで改修の費用がかかってきます。これは改修の費用も見ながら、一度また皆さんとご相談をする機会を設けたいなと思っています。先ほどから、いろんなところが傷んでいるよというようなお話がありますが、実は根上総合文化会館も大規模改修を予定してしまっていて、相当お金がかかるということになっています。どうしてもそんなことがあるので、また皆さんにご相談をさせていただきたいということで、お許しをいただきたいと思います。

続きまして、歌謡協会さんのほうからご質問、ご要望をいただきました。小松では設備が整っているようですね。

【歌謡協会】

今度訪問するところも全部設備が整っています。施設ですが、一切機械は持ってこなくていいですよと言われました。腰痛で重い機械の持ち運びが大変です。だから根上でしたら、はまなすの丘やボニジュールなど大きな施設があります。そういうところに機械を導入していただけないかなと思います。小さな病院でもこのごろみんなカラオケの設備が整って、認知症を治すための教育に使っています。能美市もそういうことを検討してみてもいいのではないかと思います。

【井出市長】

では、近隣の市町がどのような設備を持っているのか、それから能美市内でそういったものがないのか、一回調べます。調べてご返答申し上げます。

【井出市長】

それから、寺井地区公民館の舞台のライト、後ろのほうのものは確認します。

【歌謡協会】

スポットライトが壊れています。これは早急に直していただきたい。

【井出市長】

続いて、川柳会からご質問をいただきました。平成26年までNHKの川柳大会に合わせて市民川柳大会をやっていたということで、NHKの川柳大会が平成26年度で廃止になり、それに合わせて能美市の川柳大会もやめたと私は聞いているのですが、それとは違いませんか。

【能美川柳会】

それはちょっとおかしいです。私、NHKに聞きました。NHKのほうからは一切やめるとは言っていないと、そういう返事でした。

【井出市長】

では、NHKの川柳大会は今も開催されているのですか。

【能美川柳会】

はい。伊香保温泉は川柳だけではなくて俳句も入れているようです。

だから、今もなぜ廃止になったのかわかりません。NHK学園の正直な話をしますと、NHK学園は根上で川柳大会をやると赤字になりそれは困るので赤字になる分だけ根上である程度予算を見てくださいと十分ですとのこと。こういう話なので、そういう営利的なものは一切ありません。だから私、今でもわからないのは、そのときの担当者になぜや

めるのですかと聞きましたが、はっきりしたことは絶対言ってくれませんでした。

【井出市長】

もう一度その辺をはっきりさせて、それで今後、川柳大会をどうするか、また改めてご報告とご相談に行きます。

次に書道協会さんからのことについて、書道協会さんのこの取り組みというのは本当に長く続けていただいています。また、小学校1年生の子供たちも参加しているぐらい書写は大変人気のあるものなっているようです。市としても引き続き協力をさせていただいて、ご支援をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします

それから、文化講演会をどうしたらいいかということです。

平成29年度を見ても、例えば風と緑の楽都音楽祭やタント寄席、人情喜劇などをしていいますが、もっと何か一緒にやりましょうということですか。

【事務局】

そうではなく、それはどっちかというと芸能系のことです。それは有料であったり芸能系であったりするので、一般市民の方たちに対して今まで文化講演会というのをやってきました。

【井出市長】

基調講演みたいなものですね。なるほど。わかりました。

【事務局】

そういうのに来ていただく中央の方というと失礼ですけど、そういう方に来てもらうと結構お金かかります。そうするとなかなか呼べないので、協力し合っってそういう方をお呼びできないかなということです。

【井出市長】

わかりました。それはまた一回検討させていただければなと思います。

それから、洋舞協会さんのほうからお話がありました。発表の場ということなので、確かに年に1回ということであれば少ないなということは実感として思いました。多くの皆さんからも文化に触れる機会をもっとふやしたらどうかというお話もありましたので、一度検討してみます。

11月に1回やっていると思いますので、その反対側の何月かにできるのか、そのほかの先ほど申し上げたような立志式などいろんなイベントのところに挟むといったこともあると思いますので、一度こちらで検討させていただきます。そしてまた改めてご相談したい

と思います。

それから、タントの床が汚れていることについて、責任者が後ろにありますので、早速後から見に行くようにと伝えます。

それから、能美市のキャッチフレーズに「文化」を入れたらどうかというお話でした。

キャッチフレーズに関して、いろんなものがあればいいと思います。ちょっと宣伝不足なのですが、総合計画というのがあり、そこに「市民が躍動し、地域が輝く能き美しまちづくり」というのを、能美市のキャッチフレーズにしまして、いろんなことをやっぺいこうと思っています。

文化の薫るまちづくりという意味合いや、市民の皆様に住んでいてよかった、これからずっと能美市に住んでいたいと思っぺもらおうということを、包括的にイメージするもので、こんなキャッチフレーズで推し進めていくので、何とか親しんでいただければなと思います。

また、文化をもっと世界に発信したらどうかというお話でした。きょう、ここにKagemai（影舞）というパフォーマンスを披露するダンサーの方がいらっぺしています。七夕まつり、辰口まつりでも披露してくれました。また、台湾でも披露してくれて、そこで日本や能美市のことをPRしてもらおうようなパフォーマンスをしてもらいました。我々も皆さんがやっぺいらっぺするようなことを広く市内外に発信していきたいなと思います。それから今、観光ビジョンを見直してしまっぺ、その中にも能美市の文化活動にはこんなすばらしいものがあるということを入れたいと思います。あとは（ロシアの）シェレホフというところが能美市の姉妹都市です。それから、根上中学校には（韓国の）培材中学校、寺井中には（韓国の）大徳中学校から使節団の方がいらっぺいます。

私もシェレホフに行ったときに、シェレホフの文化団体の方から大変なおもてなしをいただきました。来年、シェレホフの方が能美市にいらっぺいます。ぜひ皆さんに歓迎レセプションやいろんな懇親会のごときにご登場し披露していただいっぺ、能美市の文化ここにありということの世界に発信をしていただければなと思いますので、そのときにはぜひご協力をお願いしたいと思っぺいます。

⑤ 第2 寺井地区公民館について

【司会】

次のテーマは、第2 寺井地区公民館についてです。事務局の方、よろしくお願っぺいます。

【事務局】

先ほどからいろんな団体さんから練習する場がない、場所があいてない、それから練習するにしても隣の部屋に音が聞こえないようにしなければいけないなど、いろいろ要望があります。特に地区公民館はどうしても、真ん中にあるので、会場、また練習場所として集まりやすいということで、すごく利用度が多いです。私自身も文化協会に入っていますので、いろいろ予約に行きますが、ほとんど空いていません。それで、1年前に予約を入れて何とかその日を埋めているわけです。

ちょっとこれは話が外れるかもしれませんが、寺井警察署が移転、移動するという話が出ています。寺井警察署につきましては、私もいろんな関係で出入りしています。あの場所は耐震もしてあり、それから部屋数もたくさんあります。そこを何とか市が確保して第2地区公民館という形で、皆さん利用ができるようにしていただければ、少しでも会場がないということの解消につながるのではないかなと思います。第2公民館としての利用ができないかということをも市としてもぜひ考えていただきたいというご提案です。

【井出市長】

寺井警察署に1カ月ぐらい前に見に行きました。実は、そんな目で見に行きました。

ごらんになったことがある方もいらっしゃると思いますが、実は一つ一つの部屋がすごく狭いです。それは警察の建物ゆえです。逃げられないようにしてあるわけです。その壁もすごく厚く、確かに音は聞こえないですが、壁を壊すとなると大変な費用もかかります。それから建物自体も結構古く、見ていると公民館として活用するにはなかなか難しいのではないかなと思っています。

【事務局】

3階にちょっと大きいホールがあります。

【井出市長】

あそこしかありません。だから、本当に建物自体は大きいのですが、フルに活用していくという意味では、部屋の数は多いです。でも、みんな狭い部屋で、スペースがあるのは3階の部屋しかありません。それから老朽化しているということで、私はなかなか活用するのは難しいのではないかなと思うので、もし機会があったら、会長も一回見に行ってみてください。

⑥ 寺井地区公民館の改修について

【司会】

次のテーマは、寺井地区公民館の改修についてです。コーラスの会の方、ご意見よろしくをお願いします。

【コーラスの会】

コーラスの会では、近年、辰口、寺井、根上の3団体で活動することがあり、大体主に会場はタントになります。これはできれば、できればというのは大変難しいことだと思いますが、寺井地区公民館の2階ホールの拡大や施設の充実をしてもらえないかと思います。そうすればコンサートやいろんな催し物も寺井のほうでできます。寺井町は能美市の中心地域ということで活性化するのではないかと思い、提案させていただきました。

【井出市長】

ご提案、ご要望ということですが、ぜひタントを使っていただければと思います。タントの音楽ホールは県内に誇れる本当に素晴らしい施設であります。確かに辰口地区からは距離はありますけれども、とはいえ車で20分～30分ぐらいで来ていただけます。何とか皆さんにお声がけをいただいて、タントはいいところなので、みんなタントで歌おうとお願いをいただいて、ご活用いただければと思いますので、よろしくお願いします。

⑦ 九谷茶碗まつりの共催事業の実施会場について

【司会】

テーマは、九谷茶碗まつりの共催事業の実施会場についてです。まず茶道協会さんからよろしくお願いします。

【茶道協会】

よろしくお願いします。きょうはありがとうございます。5月の3、4、5日と毎年、茶碗まつりをやっています、そこでお花とお茶とさせていただきます。寺井町ときは和田山のほうで茶碗まつりをやっており、能美市になってからもそうでした。茶碗まつりが和田山であるときから、お茶とお花は浅蔵五十吉美術館でやってくれませんか、あそこは人が来ないからと言われ、もうずっと茶碗まつりの会場から離れたところでお茶とお花をやっていました。ところが3年前から、急にお花は出してくれ、そして資料館のほうでしてくれと言われて、何の相談もなしに会場が移ってしまいました。資料館の皆さんは大変協力してくださいますけれども、資料館の中では鑑定と入札があり、そこにお茶が

入るとそれぞれのスペースが狭くて、何でこんな狭いところでやっているのかといつも言われています。

それで、美術館のほうで、何でしないのかと言われますが、市のほうが先に押さえていてどうにもならないと言われていました。どんなぐあいなのでしょうか。そこをちょっとお尋ねしたいと思います。

【司会】

では次に、いけ花協会の方、よろしく申し上げます。

【いけ花協会】

きょうは本当に機会をいただきましてありがとうございます。私も今、茶道協会の方がおっしゃっていたのと同じ意見でございます。やっぱりお茶とお花はつきものでございまして、日本の美を誇るものではないかと思っておりますので、この点、十分検討していただきたいと思っております。

それに加えて、もう2つ、いけ花協会からお願いしたいことがあります。いつも文化祭のときに使う花台について、これは根上の華道協会から使っている花台で、結構大きいものです。今まで私の家にちょっとあいたスペースがございまして、そこで保管していましたが、シロアリが来ましてどうしようもなくなりましたので壊さなければいけないと思っています。それを文化会館の片隅に置かせていただけないかなということが1つです。もう一つ、布張りのパネルについて、あれは、いけ花協会としてはとてもいいパネルだと思います。穴があいたパネルではどうしてもお花が映えませんので、それを新調できないか、修理でもしていただけないかなと思っております。

【井出市長】

まず、ことしの5月3日にお茶会に行けなくて済みません。都合ありまして、ことしは行けなかったのですが、毎年行かせていただいております。

私も抹茶、煎茶を楽しむのに、やはり美術館の池が隣にあって、そしていけ花を楽しんで、その後にお茶を飲むというのは、これは誰が見てもいいなと思うことはおっしゃるとおりです。関係の皆さんと相談をしながら、来年の茶碗まつりは煎茶、抹茶、それからいけ花の皆さんが美術館を使えるように調整をしたいなと思っております。また詳しいところは、相談をさせていただきます。

それから、展示パネルがちょっと汚いということですが、これは修理させていただきます。見ましたら、やはり表面が汚れているものや、キャストが傷んでいるものがあるの

で、それは順次直させていただきます。

それから、お花の台のお話ですが、どれくらいありますか。

【いけ花協会】

30個です。

【井出市長】

それを今、ご自宅の倉庫で管理されているのですね。なるほど。いけ花協会の皆さんのものだけを市でお預かりするわけにはいかず、いろんな方から、あれも預かってくれ、これも保管してくれということ言われています。そうなってくると本当に多くのものを市のほうでお預かりしなくてはならないということになります。ただ、お困りだということも今お聞きしましたので、ちょっとまたどんなものがどれくらいあるのか、それからどれくらいの期間、お預かりをすればいいのかということをお話させていただきます。担当者がまたご連絡いたしますので、そのときにまた詳しいことをおっしゃってください。

【司会】

ここで文化のまちづくりのミーティングを終わりたいと思います。最後に、井出市長がご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

きょう、いろんな方々からいろんなご意見を頂戴しました。大きく言えば、発表する場所をもっと確保してほしい、機会、チャンスも欲しいということだったと思います。

まず場所に関しては、財政事情が厳しいということもあって、なかなか新しいものを建てるということは正直言って難しい状況です。ですから、今ある施設をできるだけ皆さんに活用していただくようにいろんな工夫をしてみたいと思います。

例えば今、九谷焼資料館のリニューアルを考えています。多くの方がいらっしゃるそんな施設であります。私は九谷焼だけを展示してあっても、なかなかほかの趣味をお持ちの方が来ていただけないということもあって、九谷焼資料館にちょっとしたギャラリーをつくって、そこに皆さんの作品と九谷焼をコラボして展示したり、それから展示品を見にさらにお越しいただけるような、そんな仕掛けをしたりしたいなと思っています。

それは九谷焼資料館に限ったことだけではなく、市内にある施設をどんどんそういった形で、例えば文化団体の皆さんの作品や、能美市の特産品、それから工業製品も飾ってみたいと思います。そうやっていろんなものを飾ることによって今まで文化の作品に触れ

てこられなかったような方も触れられる機会をつくって、興味を持ってもらったり、サークルにかかわってもらったりといった関連性をつけることができたらと思います。それから、年に1回しかない文化の発表の会について、教育長ともいろんな話をしながら、やはりそれはもうちょっとあったほうがいいのではないかという思いもあります。ただ、皆さんも大変お忙しい方々ばかりで、日時の設定などあると思います。それから、ある団体さんだけ、この団体さんだけということではないと思います。そこはまた文化協会の会長、事務局長ともご相談しながら、できるだけ皆さんのご要望にかなうように、工夫していきたいと思います。どうもありがとうございました。